



しずくいしちようしゃかいふくしきようぎかい
雫石町社会福祉協議会

編集と発行／雫石町千刈田 82-2

雫石町総合福祉センター内

TEL：692-2230 FAX：691-1140

社協だより

2010
MAR

61号

基本目標：

「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」



『一投入魂!!』

もくじ

- ◆第33回雫石町社会福祉大会……………2・3P
- ◆平成21年度歳末助け合い募金運動報告……………4・5P
- ◆社協トピックス……………6～8P
- ◆ちょっといい話……………9P
- ◆お知らせ……………10P

表紙写真：老人クラブの輪投げ大会での1コマです。当日は、総勢300名を超える方の参加で寒い体育館が熱気と笑いで溢れかえっていました。

1投、1投を放つその目はみなさん真剣そのものでした。



この社協だよりは、皆様から寄せられた赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



話いただきました。
障がいの有無にかかわらず、「自分の生まれ育った町で安心した生活をおくりたい。」それは、誰もが願うことだと思います。
そして、現段階でいえることは、雫石町には知的障がい者のグループホームがひとつもないということ。そして、グループホームがあれば安心できる親御さんや当事者たちがいるということです。
もし、町内にグループホームができたなら、一人ひとりを温かく見守り、手助けのできるかげの応援団になれるそんな『雫石人』でありたいと望みます。

福祉と共生のまちづくりをめざして

第33回雫石町社会福祉大会開催

二月二十七日(土)町総合福祉センターにおいて第三十三回雫石町社会福祉大会を開催しました。

テーマは「福祉と共生のまちづくりをめざして」みんなで取り組み、知的障がい者の生活支援」で多くの方々が聴取されました。また、式典では多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方の表彰も行われました。



式典では、「雫石町社会福祉大会会長表彰(社会福祉事業功労者)」四名、「雫石町社会福祉大会褒賞状(在宅介護功労者)」九名、「雫石町社会福祉大会会長感謝状」一名の方々が表彰されました。

式典終了後、希望ヶ丘学園園長の菊池敏夫氏より「知的障がい(児)者の自立支援を考える」と題し、記念講演が行われました。

◆記念講演

『かつては(知的)障がい者とその家族は地域で疎外され劣悪な環境で生活していたが、時代とともに施設が整備され生活環境が向上されている。しかし、これからは

施設での生活から地域の方々と一緒に生活できる基盤づくりが必要。な時期に来ている。居住区と日中の活動を分け、環境を変えることで新鮮な毎日を過ごし、しかも機能低下せずに生きがいを見つけてあげられるように考えていかなければならない。どうすれば地域社会で障がいを持ったまま差別のない人権を守ってあげられるのか。また幸せの保障をどうつくってあげられるのか。地域で障がい者が「何が出来るのか」ではなく「出来るものは何か」を探し、個々の実情に合わせた支援と環境づくりが重要」と述べられ主人公は「障がい者である」という認識を共有し、知的障がい者の自立に向けグループホームの必要性と重要性をお話いただきました。

◆パネルディスカッション

養護老人ホーム松寿荘施設長の高橋昌弘氏の進行で、「知的障がい

者が生まれ育った町で安心した生活をおくるために」というテーマの下、三名の方がそれぞれの立場でのトークセッションを行いました。

雫石町福祉作業所かし和の郷指導員の曾根田さんからは「指導員として私たちができること」と題し現在の福祉作業所の通所生の現状について「一昨年から通所生二名の親御さんが続けてお亡くなりになり、現在一人暮らしをしているが精神的にとっても不安定で心配であること。指導員の立場として家庭への支援には限界があること。町内にグループホームがあつたら親御さんたちや指導員はどんなに安心なのか。」と語って頂き、雫石町手をつなぐ親の会会長の下川原さんからは「親として私ができること」と題し、先逝くであろう親としての心情とグループホーム設立に対する願いが語られました。知的障害者更生施設太田の園地域支援課長の工藤宏行さんからは、「地域として私たちができること」と題し、私たち町民が知的障がい者を理解し、温かく見守り、支援することの必要性についてお

受賞おめでとうです

◆雫石町社会福祉大会会長表彰

〔社会福祉事業功労者四名〕

◆藤原 恒子氏(六区)



平成十一年から町ボランティア連絡協議会の会長・町ボランティア相談員としてボランティアの拡大・普及に努めた功績

◆川村 貢氏(黒沢川)



平成十年から社会福祉協議会事務局長として、また退任後も町ボランティア相談員・スノーバスターズ代表など様々なボランティアに従事し、ボランティアの普及に努めた功績

◆安藤 千恵氏(七ツ森・丸谷地)



平成七年から長きにわたり七ツ森ふれあいネットワークの会員として、地区の老人世帯の見守り活動を定期的に行い、現在もふれあいサロンスタッフとして地域の福祉向上に努めた功績

◆杉下 弘喜氏(八丁野)



十三年の長きにわたり雫石町民生児童委員として住民の福祉増進に努めた功績

◆雫石町社会福祉大会会長感謝状(一名)

◆菅原 廣耕氏(盛岡市本宮)

雫石町福祉基金に多額の寄付(五十万円)をし町の福祉向上に寄与した功績

◆雫石町社会福祉大会褒賞状

〔在宅介護功労者九名〕

◆谷地 京子氏(岩持)



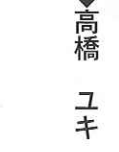
◆横手 俊一氏(上町三)



◆袖林 正男氏(駒木野) ◆中村 リツ氏(八丁野)



◆黒沢 キヨ氏(黒沢) ◆小田 慶子氏(小松)



◆上川原哲夫氏(中沼)



◆大谷地フミ氏(林崎)



多年にわたり献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。

社協だより

***** 平成21年度大口募金ご寄付の方々 *****

【30,000円】

社団医療法人鶯宿温泉病院
 雫石町医療団
 青湖苑カルチャー発表会

【20,000円】

在京雫石町友会
 雫石町ゲートボール協会
 高橋医院

【15,913円】

安庭小学校児童会

【12,702円】

雫石町赤十字奉仕団

【12,000円】

雫石町グラウンドゴルフ協会

【11,797円】

西根小学校児童会

【11,309円】

七ツ森小学校

【10,000円】

岩井建設(株)

岩手大崎電気(株)

御明神中学校跡地に桜を植える会

(有)角館稲葉設計事務所

上原小児科医院

(株)興和電設

(株)しずくいし

雫石町婦人会役員一同

(株)昭和土木設計

新日本設計(株)東北支社

第5回すてきな作業所の

チャリティーバザー実行委員会

南部富士見ハイツ

南部かしわ生産組合

沼田歯科クリニック

(株)ビルド遠藤

松ぼっくり

盛岡セイコー工業(株)

【8,784円】

七ツ森小学校児童会

【5,000円】

(株)イクスル

(株)オリエント測量設計

ホテル加賀助

休暇村岩手網張温泉

小岩井農牧(株)小岩井農場

小岩井乳業(株)小岩井工場

雫石町シルバー人材センター

雫石プリンスホテル

新岩手農業協同組合雫石中央支所役職連

スナックかつぱ

仙建工業(株)盛岡出張所

(株)大東環境科学

(株)中村建設

(株)NIPPOコーポレーション岩手支店

【3,000円】

岩手道路開発株式会社

エヌエス環境(株)盛岡支店

オリジナル設計(株)岩手事務所

ケーエヌ工業

(有)雫石タクシー

長栄館

(有)なかゆ食品

ホテル森の風鶯宿

【2,249円】

下長山小学校児童会

【2,000円】

東亜道路工業(株)岩手営業所

(株)富士電業社

(敬称略)

***** 平成21年度行政区募金二千元以上ご寄付の方々 *****

【20,000円】

目時 大堂

永昌寺

平井 正道

【10,000円】

はーとぼーと雫石

【5,000円】

四ツ家正栄

佐々木利之

土樋 博志

たにふじ歯科医院

谷藤 全功

晴山 定雄

伊藤 秀輝

葉上 好美

横手 義美

横手 俊一

BigHouse雫石店

(有)中孫商店

【3,000円】

南野 栄

上川原 毅

佐々木整骨院

佐々木 航

上野 剛

畠山 義則

野々村恭一

HOMEエコノ雫石営業所

小田 信雄

観音堂リュウ

茅橋 聡

(有)川長山荘

代表取締役 川口栄子

木村 民二

高橋 公雄

上野 力

細川正四郎

澤田 実

小川 重男

大和 定四

柳屋 光則

深谷 政光

上野 泰輝

米澤ヨシ子

古館 謙護

藤澤 金吾

ななかまど

峰川 金治

上野 宏

諏訪 京

中村 正

松尾 勝男

【2,300円】

原 誠

横田 孝志

【2,000円】

中河原 照

下田 裕

櫻田 幸男

小田中 弘

石塚 美通

細川 行輝

中村 昭子

武田 長栄

太田歯科技工所

田中 秀雄

徳田 一士

中村 幸志

石塚 祐祐

佐々木国志

石塚 昭

木村 文一

石塚 真明

大村 浅吉

高嶋 昭一

築場 弘友

大村 悦正

村上 直栄

上野 寛二

向井 繁

千葉 幸作

佐々木貞一郎

佐々木克美

千葉 茂

杉村 俊雄

村上あさ子

小地沢和志

川口 英敏

細川 壽枝

高橋 金八

関 秋雄

上野 和民

藤原 和夫

中川真理子

中島 勝記

細井 信夫

高橋 洋二

吉井 主税

沼田 容子

大村 直栄

横手 清

山口 淳光

沼田 廉一

藤村 正彦

(敬称略)

平成21年度歳末助け合い募金運動結果

報告

寄付金実績額 3,341,578円

(内 訳)

戸別募金 1,994,194円
 大口(企業)募金 452,702円
 歳末助け合いチャリティーショー・益金 844,630円
 学校募金 32,723円

配 分 額 2,688,000円

(内 訳)

歳末助け合い義援金配分金 2,448,000円
 共同募金事務費 240,000円

平成21年度歳末助け合い募金配分額 (平成22年3月12日現在)

対象者項目	雫石地区	御所地区	西山地区	御明神地区	合 計	金 額	配分額
一人暮らし老人世帯	83	35	36	28	182	546,000	@3,000
老 人 世 帯	2	1	0	1	4	12,000	@3,000
母子・父子家庭世帯	28	7	8	6	49	147,000	@3,000
遺 児 世 帯	2	1	1	3	7	21,000	@3,000
在宅重度障害(児)者	49	22	29	38	138	414,000	@3,000
認知症老人介護世帯	8	5	7	12	32	96,000	@3,000
準要保護世帯	81	41	41	29	192	1,152,000	@6,000×人数
精神障がい者団体	33世帯	14世帯	16世帯	11世帯	74世帯		30,000
福祉作業所かし和の満						30,000	
共同募金事務費						240,000	
計						2,688,000	

* 差引残金 653,578円は平成22年度の県・町の福祉活動資金に活用させていただきます。

総額

3,341,578円

町民皆様の心温まるご協力

ありがとうございました。

昨年十二月一日から、全国一斉に歳末助け合い募金運動が展開され、雫石町におきましても、町民皆様の深いご理解とご協力のもと、総額三、三、四一、五七八円もの募金額となりました。皆様からお寄せ頂いた募金は、長期間にわたり在宅で介護を要される方や生活に困っている方々等へ各地区の民生委員児童委員さんを通して、十二月末に町民皆様からの温かい善意によってお贈りさせて頂いたたく金子である旨をお伝えし、お贈りいたしました。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

平成21年度歳末助け合い募金行政区募金実績

平成22年3月12日現在

雫石地区		御所地区		西山地区		御明神地区	
行政区名	金 額	行政区名	金 額	行政区名	金 額	行政区名	金 額
高前田1区	48,400	鶯宿	38,150	網張	6,600	橋場	7,200
高前田2区	29,899	馬場・大村・男助	32,580	盆花	3,000	安栖	10,100
林	129,916	赤滝*1	23,300	極楽野	18,150	小赤沢	4,700
上町1・2	95,050	外樹沢	8,709	五区*1	26,650	山津田	13,950
上町3	64,600	榊沢	29,801	六区	12,410	滝沢	14,900
中町1	64,700	矢用	12,000	七区	14,300	南	12,046
中町2・3	61,400	片子沢	35,901	八区	25,650	天瀬	11,500
下町1・2	59,600	天戸	43,600	野中	22,000	天川	9,300
下町3	65,800	安庭	29,400	小松	34,940	中南	10,200
下町4	30,199	籬野	16,850	林崎	60,900	中島	21,400
駅前	42,150	町場	6,300	篠崎	16,200	黒沢	11,700
長根	22,200	九十九沢	6,290	上西根	15,700	まがき	11,100
谷地	23,770	矢櫃	7,257	八丁野	16,794	下春木場	11,901
晴山	69,820	元御所	11,700	西根谷地	9,000	上春木場	17,700
中沼	21,587			上駒木野	9,800	和野	15,200
陽和郷	11,200			駒木野	23,000	横欠	14,310
板橋	51,920			葛根田	11,700	土橋	9,300
七ツ森・丸谷地	79,349					上和野	9,600
小岩井	8,400					上野沢	10,000
東町	79,950					岩持	5,700
黒沢川	53,545					谷地	11,600
計	1,113,455	計	301,838	計	326,794	下川原	8,700

*1 直接、共同募金会に寄付された方がおりますので行政区の領収書と金額が異なります。

総合計 1,994,194円

社協トピックス



24時間テレビ「愛は社協を救う!!」

十二月二十四日(木)福祉センターにおいて、福祉車両の贈呈式がありました。
今回頂戴した福祉車両は、八月末に放送した、24時間テレビ32「愛は地球を救う」で全国各地から集まった募金の中から購入頂いたもので、全国で296台、岩手県内では4台、全国各地の福祉団体・個人へ贈呈されました。

贈呈式には、テレビ岩手の販促事業部長の照井氏より「全国みなさまの心のこもった募金で購入された福祉車両です。大切に活用下さい。」と目時社協会長へ鍵が渡されました。



鍵を贈呈される目時会長(左)

町福祉有償運送サポーターの石井代表は「町社協では平成十一年より「おでかけ援助サービス事業」を行なっており、公共の交通機関を利用できない障がいをお持ちの方等を対象に外出のサポートを行なっています。当初から使用してきた車両は十年以上走行し続け、利用者の外出を安全にサポートするには、そろそろ社協に車両の購入を検討してもらいたいという時期の思いがけない贈呈でありました。」と喜びも一入。まさに、「愛は社協を救った」ハッピーバード号。大切に活用させていただきます。



笑顔いっぱいの石井代表

歳末助け合いチャリティショー開催

十二月六日(日)中央公民館野菊ホールにおいて「歳末助け合いチャリティショー」が開催されました。当日は、平石保育園児の可愛らしいお遊戯から各団体の皆さまの素晴らしい舞台で大いに盛り上がり、ロビーでは、商工会様提供の大バザーと町民の皆様からご協力頂いたバザーも大賑わいでした。



しずくちゃんの中は...「町長さん」でした!!

町老連対抗「輪投げ大会開催」

「鬼は外! 福は内!」

日頃の運動不足解消と健康の保持増進を図るとともに、町老連単位クラブ会員の親睦と交流を深めることを目的に、今年度二回目の輪投げ大会が二月三日(水)平石町営体育館で開催されました。

当日は、総勢52チーム260名の選手と各チームの応援団、合わせて300名近くが体育館に集結しました。

競技開始とともに体育館は、熱い応援とともに、3m50cmめがけて一投入魂の選手の熱い眼差しで寒さも吹き飛ばすほどに熱

気で溢れかえっていました。

当日は節分ということから、競技終了後には、豆まきをして厄を追い払いながら、会員同士、笑顔で交流を深めました。

激戦を勝ち抜き頂点に輝いたのは次のチーム・皆さんです。

★団体の部

優勝 板橋結友会

準優勝 篠崎シニアクラブ

三位 鶯宿 梅鶯会

★個人の部

優勝 篠村幸造さん(篠崎)

準優勝 瀬川敏雄さん(板橋)

三位 細川長治さん(安庭)



皆さん真剣なまなざしです。



「入ってくれっ」

長生きの秘訣!?

～在宅介護者の集い～

自宅で寝たきり等のお年寄りを介護している方を対象に、2月19日(金)「八幡平リゾート」にて「在宅介護者の集い」を開催しました。今回は参加者の方から、「介護されている人にチユ〜っとすると長生きするらしい!」という話があがり、賛否両論盛り上がりしました。その後ある参加者は、こっそりおばあさんに実践している、ということですが果たしてどうなるか!? きつと結果より愛情を持つて介護する事が大切ということなんでしょうね。



愛情たっぷりそそいでいます (*^_^*)

お仲間と和気あいあい♪

～一人暮らし老人昼食会～

2月18日(木)「休暇村岩手網張温泉」にて※75歳以上の一人暮らしの方を対象とした昼食会通称「鶴の会」を開催しました。

今回は、新しい仲間が5名加わり、いつもにも増して、会話に花が咲いていました。

当日は温泉・食事・輪投げ・カラオケなどで交流を深め、和気あいあいとした楽しい会となりました。

※1 現在対象となる75歳以上の一人暮らしの方は、町内に約180名いらっしゃいます。



笑顔前線北上中です!!



ちよつとイイ話

～素敵な手紙とスーパーじいちゃん～

新年が明け、町ボランティア連絡協議会宛に一通の手紙が届きました。

内容を読ませていただくと、最近ではあまり見ることのないような漢字が数箇所。でも、温もりのある表現の文章。「これは・・・」と気になり思わず、その方に会いに行ってしまいました。



ことの成り行きは、商店街にあるお休み処「べこつと」で編み物や小物作りを行なっている「あの・なはあくん」の会員さん方（茅橋幸子代表・会員15名）が家に眠っている毛糸でモチーフを作り合わせて膝掛けを作成したことが始まりでした。「せっかく作ったものだし、誰かの役にたてれば……」そんな思いを町ボランティア連絡協議会へ話したところ、昨年末に「町内に住むご長寿番付の方へ膝掛けをお届けしよう。」という話になったそうです。膝掛けプレゼントの対象となったのは町内在住のご長寿番付十名の方でボランティアがお宅へ訪問し膝掛けをプレゼント。

その中のお一人が、今回素敵な手紙をボランティア連絡協議会宛に送って下さった「土樋裕之助さん（小松行政区）」でした。

土樋さんがボランティア連絡協議会宛に届けて下さったお手紙をご紹介します。

土樋氏はどんな方か想像を膨らませお宅へお邪魔しました。

玄関を開けるとそこには、土樋氏ご本人が早速私たちを出迎えて下さいました。

● 今回のこの礼状のきっかけは？

● 膝掛けが届いた時にお母さん（お嫁さん）にお礼状を出したら？と言われてワープロで作成しました。

● ワープロですか……

● ワープロは出始めの頃、70代の時に購入して独学で勉強しました。

● すごくですね。70代からワープロを始められたのですか。

● 昔から文章を作るのも好きだったし、農業技術も独学で勉強したんです。興味がわくと自分で勉強したくなるんですね。

● 趣味と健康の秘訣を教えてください。

● 趣味は読書かな。昔は一日一冊読んでいたよ。今は一週間に一冊。健康の秘訣は、何でも食べること。甘いものが好きだよ。後はとにかく頭と指を動かすことかな。

● ありがとうございます。

本のお話を伺ったとき、「今読んでいる本みせてあげようか。」と言って自室へスタスタと歩いていかれ、98歳には見えず驚き。見せて下さった本が「素晴らしい宇宙」。3cm程の厚い本で、中を見ると赤いラインや青いラインで線が引かれており、またまた驚かされました。現在、お孫さんが11人、ひ孫さんが13人いらっしゃるの事。

土樋さん。お礼状ありがとうございました。これからもお元気で過ごしてください。

平成21年12月28日

零石町社会福祉協議会 気付

零石町ボランティア連絡協議会

会長 藤原 恒子様

謹啓

2009年の今年も押し迫り、早くも歳末の日々も残り少なくなり、殊の外に忙しく感ずる頃と相成りました。そうした中にもめげず、零石町ボランティアの諸姉妹皆様方のご労苦を忍び、真心込めて編み上げて下さった貴重な「膝掛け」を、いつ昨日寒い中にも拘わらずに態々届けて戴き誠に有り難く、衷心より厚く御礼申し上げます。

早速にも膝掛け炬燵で暖を取る際に使用したところ、膝から下肢まで暖かくて、本当に改めて生き甲斐を感じ、感謝感激の外ありません。折角編み上げて下さった皆様方の暖かい手の温もりが、仄かに伝わって来る様な感じに打たれて感謝の心を一層新たにしている次第であります。

こうした心遣いの有り難さについても会長様より、ボランティアの皆様方へも、機会があったなら宜しくお伝え下さいますよう、お願い申し上げます。

私こともお蔭様で、歳を重ねながらも何とか元気で毎日を暮らして居りますので、他事ながら今後とも宜しくお願い申し上げます。

敬具

土樋 裕之助

手をつなごう かし和の要通信



グループホームの設立望む

今号の社協だよりでも掲載されておりますが、第33回零石町社会福祉大会においてパネルディスカッションの際、手をつなぐ親の会から下川原会長がパネラーとして「親として私ができること」というテーマで発表しました。

町社会福祉大会前に、親の会の会員が集まり、グループホームについて少し勉強しました。「障がいを持つわが子を安心して託せる場所がほしい。」「親亡き後も、地元で暮らせるように願う。」「それぞれが願う親心がお互いの口からでてきました。

私たちができることは、親が元氣なうちに多くの地域の方にご理解とご支援をいただき、私たちも地域に貢献し活動していくことと思っています。

かし和の郷には、新たに仲間が増え、総勢23名となりました。これからもよろしく願います。

身障協通信

零石町身体障害者福祉協会

一月十八日、県身障協会長の長谷川氏による講演会が町中央公民館で開かれました。

たくさんの方々が参加し、長谷川氏から福祉についてお話をいただき、民生委員さんや身障協会員も熱心に質疑応答をして勉強しました。その後、町長をはじめ関係機関の皆さまを交えて懇談会を行いました。

い身障協会員との親睦を深めることができました。

今後も総会やグラウンドゴルフ、講演会などを計画しておりますので多数の参加をお待ちしております。

照会先…町身障協事務局（櫻小路）

電話 692-4626

平成二十一年度赤い羽根共同募金最終募金額のお知らせ

前号の社協だよりにて町民の皆様にご報告いたしました「平成21年度赤い羽根共同募金運動結果」ですが、追加の募金がございましたのでご報告いたします。

・設置募金 1、325円

・福祉センター自動販売機設置募金 3、135円

・貯金利息 4、584円

計 500、034円

これにより、平成21年度赤い羽根共同募金の総額が2、500、034円となりました。

皆様のご協力ありがとうございました。





お知らせ

嘱託職員を募集しています!!

町社会福祉協議会では、平成22年4月から勤務できる嘱託職員を募集しています。

資格

パソコン操作が可能な方。
運転免許のある方。
健康で明るい方。

年齢

概ね50歳位までの方

雇用期間

1年間

勤務形態

9時～16時
週休二日制

給与

134、100円

社保・労保有

募集人数

1名

申込方法

履歴書（写真付）を平成22年4月9日（金）までに総合福祉センター内町社会福祉協議会までご提出下さい。

（担当：柿木）

友愛ヘルパー（登録ヘルパー）を募集しています!!

町社会福祉協議会では、平成22年4月から勤務できる友愛ヘルパーを募集しています。

資格

ヘルパー2級もしくは、介護福祉士の資格を有し、普通運転免許のある方。
健康で明るい方。

年齢

概ね55歳位までの方

勤務時間

8時～18時の間

主に土日祝日を中心に働ける方

給与（時間給）

身体援助 1、200円

生活援助 1、000円

旅費1kmあたり20円

募集人数

若干名

申込方法

履歴書と修了証書または登録証の写しを平成22年4月30日（金）までに総合福祉センター内町社会福祉協議会までご提出下さい。

詳しくは町社会福祉協議会指定訪問介護事業所までお問合せ下さい。

（担当：柿木・板屋）



やうじょうじんを
ありがたうございます!

（平成21年12月以降受付分）

寄付金

栗石ライオンズクラブ様
六一、五七四円

盛岡地区書洞宗青年会一九会様
五一、一一〇円

菅原 廣耕様
五〇〇、〇〇〇円

根子 憲一様
二〇〇、〇〇〇円

菊池 敏夫様
二二、七六〇円

社協行事予定

4月

4日（日） 西山保育園入園式

26日（月） 三障がい相談

5月

8日（土） 男の料理教室

20日（木） 一人暮らし老人昼食会

28日（金） 心配ごと特別相談所

*事情により、変更になることがあります。予めご了承下さい。

編集後記

三月と言え

ば、別れと出会いの季節とよく言われますが、

永遠のお別れでないかぎり人はずっと誰かに出会い、支え支えられていくのかなあ。と思いましたが、自分を支えてくださる人たちに感謝をして来年度も頑張っていきたいと思います。

（文）